



活動目的

唐津Farm&Foodは、地域の自然環境と生態系を未来に受け継ぐため、環境教育やサーキュラーエコノミーの推進を通して、持続可能な地域社会の実現を目指しています。地域住民と共に管理する横枕地区は、佐賀県初の「自然共生サイトエリア」としてOECMに認定され、多様な生態系が広がる里山です。この地では、日本の伝統文化と原風景が自然と調和しながら保たれてきました。唐津Farm&Foodでは、日本のSATOYAMAを守り、横枕地区の豊かな自然と共生しながら地域資源の保全・活用を推進しています。この地区は、希少な生物の生息地であり、古来より続く伝統的な景観を守る日本の里山の象徴です。そのため、今後も環境教育や地域住民との協力を通じて、この貴重な自然環境を次世代に引き継ぐ取り組みを強化していく予定です。

活動内容

生物多様性の保全

横枕地区において、生物多様性の調査や保護活動を、政府や企業、学校と共に実施しています。2025年施行の「生物多様性増進活動促進法」のもと、このエリアはネイチャーポジティブエコノミーの重要な拠点として位置づけられています。

プラスチック汚染対策と資源循環

対馬市の行政や企業、福岡市の企業と協力し、北西九州エリアでのプラスチック汚染問題の解決に取り組んでいます。海洋プラスチックだけでなく、地域全体での循環型経済を目指し、資源の循環モデルを構築することで、環境負荷の軽減に大きく貢献しています。

環境教育と国際協力

2024年9月には、ESD拠点である唐津南高校の卒業生がユース代表として韓国済州島での「第25回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM25）」ユースフォーラムに参加しました。地元の活動が国際課題と繋がっていることを実感し、プラスチック循環経済の必要性について議論が行われました。

地域連携と共創

企業、行政、教育機関と連携し、地域住民と共に新たなプロジェクトを創出。地域資源の活用や課題解決を通じ、持続可能な地域発展に向けた取り組みを推進しています。

活動場所

OECM認定エリア: 佐賀県唐津市相知町横枕、九州地域ほか



PRしたいポイント

- ・地域との共生を目指す持続可能な社会づくり
唐津の豊かな自然環境を守り、地域の活力を引き出しながら、持続可能な社会の構築を目指します。
- ・プラスチック循環経済の推進
北西九州エリアでのプラスチック汚染対策を通じ、資源循環型経済のモデルを地域に根付かせています。
- ・環境教育プログラム
環境教育やワークショップを通じて、地域の若者が自然との関わりを深め、未来を担う意識を育む取り組みを行っています。
- ・生物多様性の保全活動、SATOYAMAプロジェクト
横枕地区を「自然共生サイトエリア」として管理し、人と自然が共生するSATOYAMAモデルを発信。国内外のパートナーと連携し、ネイチャーポジティブエコノミーの促進を目指しています。
- ・サーキュラーエコノミーとネイチャーポジティブエコノミーの構築
OECMエリアでの生物多様性保護や北西九州でのプラスチック問題に取り組み、地域資源を活用した持続可能な仕組みづくりを進めています。

今後の展開

唐津Farm&Foodの活動を通じて、地域住民や若者が自然環境の保全や持続可能な社会についての理解を深め、積極的な参加が増えていきます。今後は、OECMエリアにおけるネイチャーポジティブエコノミーの確立を図り、地域の経験を国際的な場で共有することを目指します。国内外のパートナーと連携し、九州での成功事例を世界へ発信。唐津南高校の虹の松原プロジェクトを活用したESD教育も進め、世代を超えて続く環境教育の発展を支援していきます。